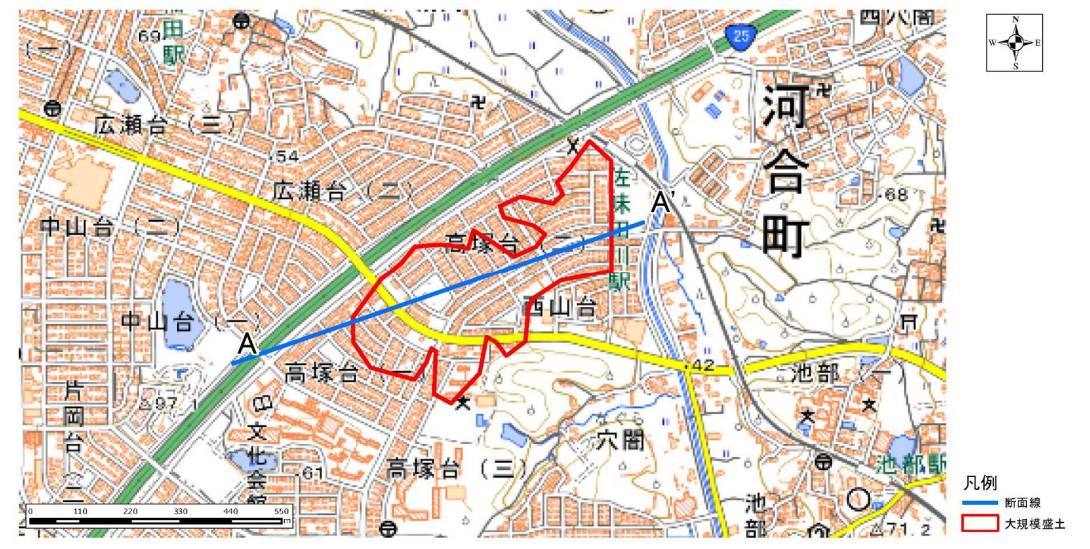


宅地概要 (第一次スクリーニング結果)								
盛土番号	河合-4-2	宅地名	高塚台	造成(許可)年代	S46~S61			
所在地住所	河合町高塚台2丁目							
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 ( <input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型 ) <input type="checkbox"/> 自然斜面							
盛土形状	盛土面積A	139741 m <sup>2</sup>	盛土幅W	180 m	盛土距離d	516 m	天端幅(腹付け型)L	m
	盛土高さH	14 m	盛土厚さD	m	元地盤勾配α	2 °		

【位置図】



宅地概要 (第二次スクリーニング計画の作成)		
優先度評価項目	判定	記事
① 盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
③ 地下水	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 可能性有	
④ 盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	
⑤ 造成年代 (基準年以前/以後)	<input type="checkbox"/> 以前 <input checked="" type="checkbox"/> 以後	
⑥ 変動確率	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	

規模の大きな宅地造成地の一部である。北東側の盛土末端の一部にはブロック積擁壁が見られるがその規模は比較的小さく、全体的にはすりつき型の谷埋め型盛土である。また、盛土を横断するように道路が掘り割り形状で通過しており、道路の両側部にはコンクリート擁壁が連続しているが、変状の発生はなく安定している。盛土内には戸建ての住宅が建ち並び、目立った変状は見られない。また、路面に発生しているクラックは、舗装の老朽化に伴うものと考えられる。盛土内に出水の痕跡は見られない。盛土全体が不安定化するような兆候は見られない。造成年代は基準年以後である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。

想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつく形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。

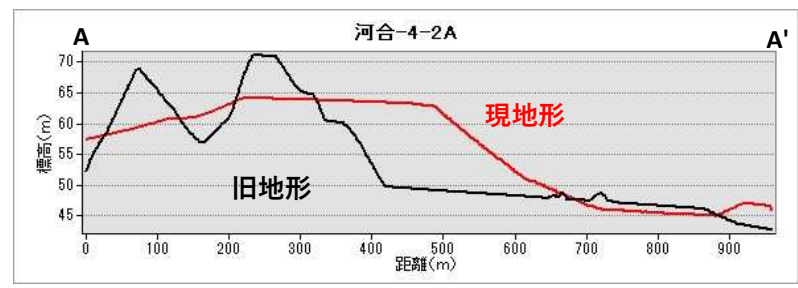
想定被害形態

地形的要因により崩壊には至らない変形

優先度

**B4**

【断面図】



宅地概要 (第二次スクリーニング)

【地盤定数】					【安定計算結果】		
	代表N値	単位体積重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)	常時	地震時
盛土							
地山							

変動予測調査後

【工事の記録】

【点検の記録】

【総評】

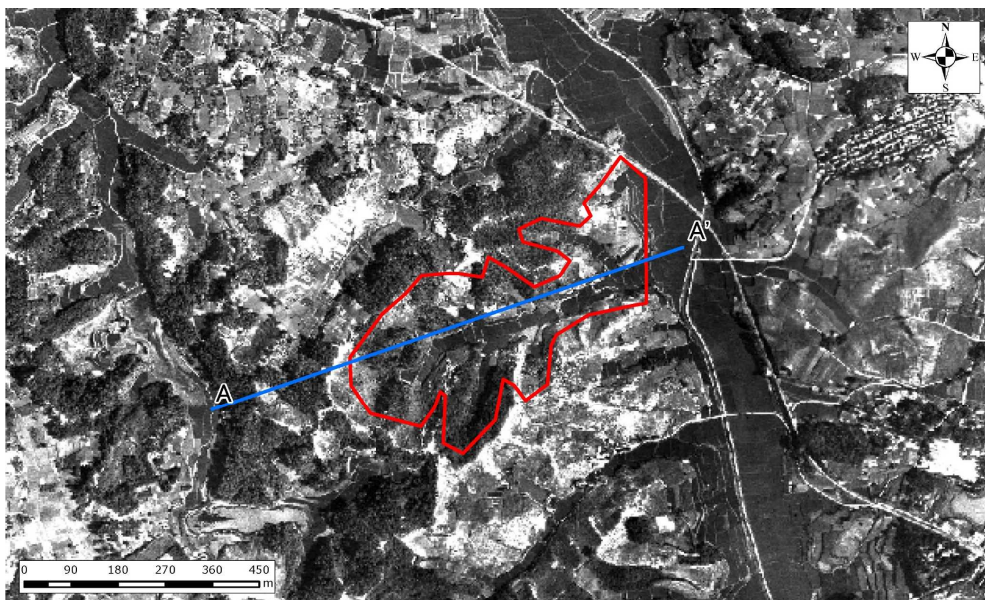
【総評】

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

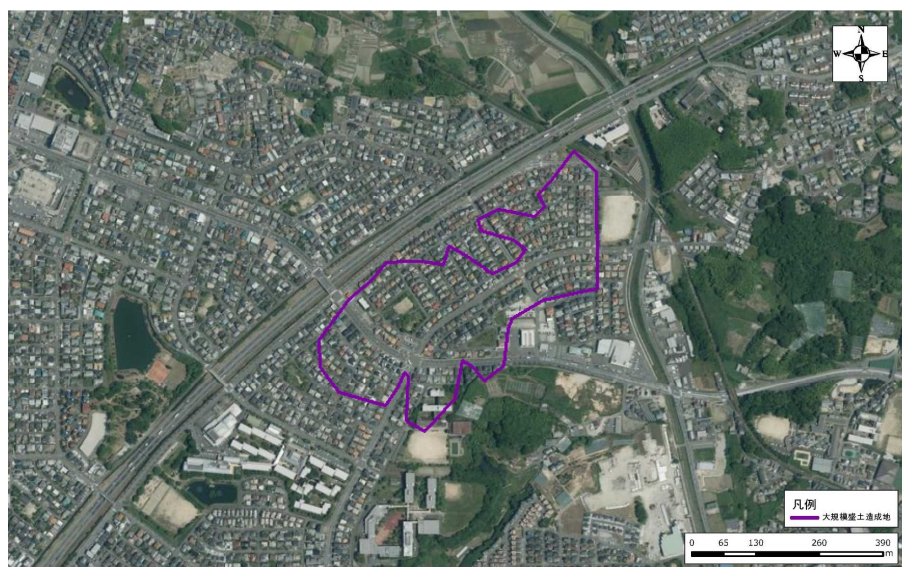
様式2

盛土番号	河合-4-2	宅地名	高塚台	造成年代	S46~S61	盛土形状	盛土面積A	139741	m <sup>2</sup>	盛土幅W	180	m	盛土距離d	516	m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	河合町高塚台2丁目					盛土形状	盛土高さH	14	m	盛土厚さD		m	原地盤勾配α	2	°		
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 （ <input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型 ） <input type="checkbox"/> 自然斜面					特記事項											

【背景（昭和21年度航空写真）】



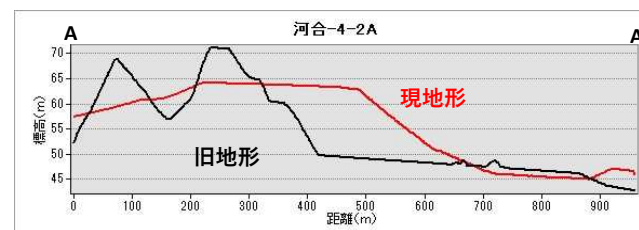
【空中写真】



【差分図（背景現地形図）】



【模式断面図】



宅地カルテ（第二次スクリーニング計画の作成（1））

様式3

基礎資料整理			現地踏査									
チェック項目	判定	記事	調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	■有 □無 ( 459 ) 軒	2022年11月9日		13:00	0	0	0	0	0	0	
	・住宅公共施設等	■有 □無	集合住宅5棟24軒		降水量 (mm)	0	0	0	0	0	0	
	・その他特記事項	—	■避難所 ( 河合第三小学校、高塚台第2公園、高塚台2丁目集会所、高塚台緑地、高塚台第2緑地、高塚台第3緑地 ) ■緊急輸送路 ( 県道36号天理王寺線 ) □河川 ( ) □鉄道 ( )		・宅地内の平面図との相違 □有 ■無 ( ) ・盛土形状の机上調査との相違 □有 ■無 ( ) ・盛土末端部の状況 — □のり面 ■擁壁 ■すりつき ( )							
各種指定等	・各種指定の有無	■有 □無	■宅地造成工事規制区域 □災害危険区域 ■人口集中地区DID □土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □急傾斜地崩壊危険区域 □砂防指定地 □地すべり防止区域		土質	・原地盤材料の確認 □有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 □岩盤 ・盛土材料の確認 □有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 ( ) ・既往調査の資料 □有 ■無 ( )	判定 (記事)					
	・その他特記事項	—			質	・その他特記事項 — ( )						
その他	優先度評価項目		判定 (記事)		優先度評価項目							
	⑤	基準年代 ( S43 )	□前 ■後	造成年代 ( S46~S61 )	①	盛土のり面勾配	□急 □適	勾配 (1: ) ( のり面構造ではない )				
	⑥	変動確率	■大 □小	点数方式 (方式1) % 点数方式 (方式2) 27.3 % 数量化Ⅱ類 52.0 % その他 ( )	・小段の設置 □不適 □適 高さ ( )m 段数 ( )段 (小段なし) ・のり面保護工の設置 □不適 □適 ( のり面構造ではない ) ・ひな壇部分の傾斜 □急 ■適 傾斜角 ( 2 ) ° ( ) ・擁壁構造の適格性 □不適 ■適 □鉄筋コンクリート構造 □無筋コンクリート造 ■練積造 □その他 ( ) 高さ ( 3 ) m 壁面勾配 (1: 0.4 )							
【平面図】		造成年代 ・その他特記事項 — ( ) 変動確率 ・その他特記事項 — ( )		②	宅地地盤・亀裂、沈下、隆起	□有 ■無 ( )						
				③	擁壁盛土のり面	・擁壁とその基礎の変状 □有 ■無 ( ) ・擁壁背面の変状 □有 ■無 ( ) ・擁壁の補修履歴 □有 ■無 ( ) ・ガリ侵食跡 □有 ■無 ( ) ・表面の不陸又は凹凸 □有 ■無 ( ) ・亀裂 □有 ■無 ( ) ・排水溝の変状 □有 ■無 ( )						
				④	地下	・災害痕跡 □有 ■無 ( ) ・根曲り □有 ■無 ( ) ・道路の変状 □有 ■無 ( クラックは舗装の老朽化に伴う )						
				⑤	地下水	・その他特記事項 — ( ) ・盛土のり面からの湧水 □有 □可能性有 ■無 ( ) ・擁壁水抜き穴からの恒常的な出水 □有 □可能性有 ■無 ( ) ・ひな壇部分の擁壁前面部の出水 □有 □可能性有 ■無 ( ) ・排水工や擁壁の恒常的な湿り □有 □可能性有 ■無 ( ) ・盛土のり尻排水工の水没 □有 □可能性有 ■無 ( ) ・排水工の目地・亀裂からの地下浸水 □有 ■無 ( ) ・盛土のり尻のため池等の満水位 □有 ■無 ( ) ・既存井戸水位 □有 ■無 ( ) ・盛土のり尻の調整池・ため池 □可能性有 ■無 ( ) ・集水地形上の盛土 □可能性有 ■無 ( ) ・盛土上ガレージの湿り □可能性有 ■無 ( ) ・水を好む植生の有無 □可能性有 ■無 ( )						
				⑥	盛土	・その他特記事項 — ( ) ・盛土周辺の崖錐、崩積土 □有 □無 ■不明 ・盛土周辺の沖積粘性土 □有 □無 ■不明 ・盛土周辺の沖積飽和砂質土 □有 □無 ■不明						
				⑦	盛土層下	・その他特記事項 — ( )						
				⑧	状態	・その他特記事項 — ( )						
				⑨	総評	規模の大きな宅地造成地の一部である。北東側の盛土末端の一部にはブロック積擁壁が見られるがその規模は比較的小さく、全体的にはすりつき型の谷埋め型盛土である。また、盛土を横断するように道路が掘り割り形状で通過しており、道路の両側部にはコンクリート擁壁が連続しているが、変状の発生はなく安定している。盛土内には戸建ての住宅が建ち並び、目立った変状は見られない。また、路面に発生しているクラックは、舗装の老朽化に伴うものと考えられる。盛土内に出水の痕跡は見られない。盛土全体が不安定化するような兆候は見られない。造成年代は基準年以後である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。						
				⑩	被害形態	被害形態						
				⑪	優先度	B4						



写真1 盛土末端のブロック積擁壁



写真2 末端付近の状況



写真3 末端付近の状況



写真4 南側境界付近の土地利用状況



写真5 西側境界付近の土地利用状況



写真6 中央部 土地利用状況



写真7 北側境界付近の土地利用状況



写真8 北側境界付近の土地利用状況



写真9 路面のクラック(1cm)



写真10 掘り割り形状の道路状況



写真11 中央部 土地利用状況



写真12 中央部 土地利用状況



写真13 中央部 土地利用状況



写真14 中央部 土地利用状況



写真15 北側境界付近の土地利用状況



写真16 北側境界付近の土地利用状況



写真17 中央部 土地利用状況



写真18 中央部 土地利用状況

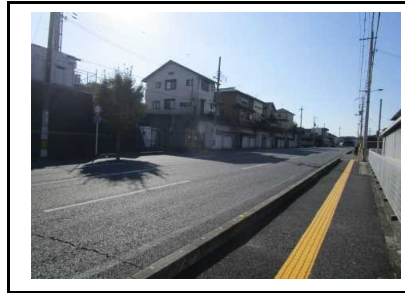


写真19 南側境界付近の土地利用状況



写真20 中央部 土地利用状況



写真21 中央部 土地利用状況



写真22 中央部 土地利用状況



写真23 中央部 土地利用状況



写真24 北側境界付近の土地利用状況



写真25 中央部 土地利用状況



写真26 北側境界付近の土地利用状況



写真27 中央部 土地利用状況



写真28 中央部 土地利用状況



写真29 中央部 土地利用状況



写真30 頭部付近 土地利用状況



写真31 頭部付近 土地利用状況



写真32 頭部付近 土地利用状況